

佐賀大学保健管理センター  
自己点検評価報告書

平成 20 年度

佐賀大学保健管理センター  
佐賀大学学生生活課

## 平成20年度保健管理センター自己点検評価報告書

### I. 部局等の目的・目標

保健管理センターは、本学の学生及び教職員の健康の保持増進を図るため、保健管理に関する専門業務を行う施設として設置されたものである。その目的を達成するための主な業務は以下の通りである。

#### 1. 定期健康診断

4月から5月にかけて定期健康診断を行う。定期健康診断の対象者は、学部学生・大学院生・研究生等、本学に在籍するすべての学生が含まれる。日程などは、各学部ならびに全学教育センターに提示し、必ず受診するように情報を提供する。なお、未受診者には健康診断書の提出を求めることもある。

#### 2. 特別健康診断

体育大会出場選手のためのスポーツ学生健康診断、放射性物質取り扱い学生のためのR I 検診などがある。未受診者は大会への出場や実験への参加が許可されない場合がある。特にR I 検診未受診者は、1年間、R I 取り扱い実験への参加が許可されない。

#### 3. 健康相談

身体的な健康についての相談はいうまでもなく、修学上の問題や対人関係の問題など、心理的・精神的健康についての相談も行われている。健康相談は、内科医・精神科医など医師の担当で、より良い学生生活のための助言・指導が行われる。相談内容など個人の秘密は厳重に保護されている。安心して相談できる体制が整っている。身体的健康相談は予約なしに、いつでも受けられるが、心理・精神面での健康相談は予約制をとっている。

#### 4. 応急措置

実験実習・体育実技・課外活動などでケガをしたり、発熱・腹痛など病気にかかった時は、保健管理センターで応急措置が受けられる。保健管理センターでの治療はすべて無料である。

#### 5. 健康診断証明書の発行

就職・アルバイト・奨学金申請などに必要な健康診断証明書を発行する。健康診断証明書は、定期健康診断の結果に基づいて発行するので、健康診断未診断者には発行できない。

#### 6. 健康保険証について

保健管理センターで行う健康診断・健康診断・応急措置などは、無料である。しかし、学外医療機関での診療が必要になった場合は、有料となり、受診者負担ですから健康保険証が必要になる。親元を離れて生活している学生は、遠隔地被扶養者証を必ず作成しておくように指導している。

## Ⅱ．部局等の概要

「佐賀大学保健管理センター」（以下センターと略）は昭和 45 年 4 月に開設された。開設時は専用の独立建物はなく、事務局本部を借用しての出発であった。しかし、関係当局および学内関係各位の絶大なご努力により昭和 54 年 4 月にセンター専用の独立建物の竣工を見、本学における保健管理業務が本格的に歩み始めることとなった。

本学におけるセンターの基本方針は「学生、教職員の保健管理に関する専門的業務を行う」ことにあります。とくに学生については心身の健康に関わる問題を早期に把握し、疾病予防、健康増進をはかり適切な指導管理で学業を全うできるようにその業務を遂行することにある。

このような状況下で当センターの利用状況は年々増加傾向にあり、学生はもとより教職員の健康管理についても定着しており、利用しやすい健康相談の場としての機能を十分果たしているものと思われる。

目的・目標で示したように、現在の主な業務として、定期健康診断、留学生健診、特別健康診断（スポーツ健診、放射性物質取り扱い学生のための R I 健診、学生実習参加のための麻疹抗体検査、など）、健康相談（身体的な健康についての相談だけでなく、心理面の相談も含みます）、応急処置、健康診断証明書の発行、職員健診、職員健診後の指導、など、その業務内容は年々拡大している。さらに、健診に終始するだけではなく、異常値がみられた学生や職員に対しては、再検査によってフォローも行っており、1年間を通して、業務内容はぎっしり詰まっているのが現状である。

さらに、通常の診療に加え、教員およびナースは年に 2 - 3 回、全国および九州地区の大学保健管理研究集会に参加し、最新の情報を習得する学会に参加し、情報収集するとともに、佐賀大学における新たな試みを発表することも行っている。このような学会を通じて、全国の大学間の情報交換およびコミュニケーションを深めることにより、さらに充実した保健管理センターを目指して、日々研鑽を積んでいるのが現状である。

平成 20 年度の保健管理センターの利用者は、本庄キャンパスでは延人数 5, 837 名であり、鍋島キャンパスでは延人数 7, 143 名であり、佐賀大学における学生および教職員の保健管理業務は十分に機能している。

### Ⅲ. 領域別の自己点検評価

#### (1) 診療支援の領域

#### 現 状

本庄キャンパスと鍋島キャンパスに分類して、平成20年度の診療支援がどのような結果であったか、その自己点検の内容を以下にまとめた。

#### <本庄キャンパス>

##### 1. 定期健康診断：

新入生 1,272 名中 1,268 名 (99.7%) が定期健康診断を受けた。在学生の2年生は 1,245 名中 1,082 名 (86.9%)、3年生は 1,297 名中 1,123 名 (86.6%)、4年生は 1,305 名中 1,069 名 (81.9%)、それ以降の学生は 455 名中 205 名 (45.1%)、大学院・研究生などは 890 名中 673 名 (75.6%) であり、総計 6,464 名中 5,420 名 (83.8%) であった。

##### 2. 新入生健康診断：

新入生における現症または所見のある者の中で、頻度の高い疾患および状態像は、肥満 (BMI 30 以上) が 31 名、やせ (BMI 18 未満) が 101 名、アレルギー鼻炎が 10 名、アトピー性皮膚炎が 5 名、心雑音 7 名、高血圧傾向 11 名、気管支喘息が 4 名、などであった。心電図検査結果では、ST-T 異常が 15 名、不完全右脚ブロックが 13 名、平低T・陰性Tが 13 名、完全右脚ブロックが 9 名、心室性期外収縮 6 名、洞性頻脈が 6 名、WPW 症候群 6 名、R波増高不良 5 名、Brugada 型が 2 名、の順であった。

##### 3. 新入生健康調査：

心理面のスクリーニングを行うために、新入生全員 (大学院生も含む) へ「一般健康調査票 (CMHQ)」「College Mental Health Questionnaire」を配布した。本年度の回収率は、1,439 名中 992 名 (68.%) とやや増加した (昨年 64.1%)。CMHQ のスコアが 15 点以上 (ストレス過剰の可能性) の学生に対しては、構造化面接 Mini-International Neuropsychiatric Interview (MINI) を施行した。286 名が該当者であったが、166 名 (58.0%) に面接を行うことができた。頻度の高い診断としては、全般性不安障害 6 名、パニック障害 3 名、強迫性障害 2 名、大うつ病エピソードおよび気分変調性障害はそれぞれ 2 名、社会恐怖 2 名、躁病エピソード 1 名、広場恐怖 1 名、神経性無食欲症、神経性大食症 1 名、全般性不安障害 1 名、その他 (過敏性大腸炎、身体表現性障害) 3 名、などの順であった。

#### 4. 外国人留学生特別健康診断：

前期と後期の対象者はそれぞれ、309名、125名であったが、受診者は前期249名(80.6%)、後期110名(88.0%)であった。異常所見または症状のある者について、前期では「やせ29名」「肥満10名」、「胃炎・十二指腸潰瘍8名」「高血圧傾向6名」「喘息2名」「血小板減少症2名」「甲状腺腫2名」「陳旧性肺結核1名」「高脂肪血症1名」「糖尿病1名」「貧血1名」「てんかん1名」などであり、いずれも生活習慣に関するものであった。後期でも、同様の傾向が認められた。

血液検査で異常を示す者では、前期ではHDLコレステロール低値、高脂血症、高尿酸血症、肝機能障害(脂肪肝)、後期では肝機能障害(脂肪肝)、B型肝炎ウイルス陽性、高脂血症、貧血、高尿酸血症の順に多かった。

心電図では、前期では「不完全右脚ブロック2名」など、後期では「左軸偏位1名」などがみられた。

前期に異常が認められた留学生のフォローは33名中、改善が13名、不変が15名、悪化5名であった。

#### 5. 外国人留学生保健管理センター使用状況

留学生346名中162名が保健管理センターを利用していた。利用者の延数は325名であった。利用の目的は、内科系疾患としては、呼吸器症状(風邪様症状)、内分泌・代謝異常症状が多く、外科系疾患としては、骨・関節筋肉痛、擦過傷・切傷、などが多かった。専門の医療機関を紹介したのは、325名中46名であった。

#### 6. スポーツ学生健康診断

対象者731名中480名(65.7%)の受診者があった。異常所見としては心電図検査で15名が該当したが、経過観察とした。医療機関に通院中の学生が21名いたが、スポーツを行う上で、大きな支障が生じることはなかった。

#### 7. 健康相談者数

内科系では430名(延数567名)、外科系では94名(延数106名)、心理系では150名(延数760名)、その他181名(延数220名)、総計855名(延数1,653名)の健康相談があった。医療機関の紹介を行った件数は534名であった。

#### 8. 健康診断証明書発行状況

1年間を通じて、3,786通の健康診断証明書を発行した。発行件数が多い月は、3月(1,232件)、2月(806件)、6月(561件)、1月(380件)、の順であった。

#### 9. 麻疹抗体検査実施状況

麻疹の流行に伴う大学等の教育実習生の対する指導に基づき、当大学においても感染拡大・防止のための教育実習生等を対象に麻疹の罹患歴・麻疹ワクチン接種状況の問診と抗体検査を実施することとした。第1回の実施では、292名が検査を受け、第2回の実施では、53名が検査を受けた。抗体値が低い学生に対しては、個別に医療機関を紹介し、ワクチン接種を勧奨した。

#### 10. 保健管理センター利用状況

保健管理センターの利用件数は 5,837 件（学生 4,749 件・職員 1,088 件）であった。この利用件数は従来の結果と変わらない結果であった。この利用件数の結果は、本大学の保健管理センターが学生および職員の保健管理および治療において十分な役割を果たしていると考えられる。

### <鍋島キャンパス>

#### 1. 平成20年度学生の健康管理実施状況

新入生 155 名中 155 名（100.0%）が定期健康診断を受けた。在学生の医学科全体としては 580 名中 564 名（97.2%）、看護学科は 264 名中 260 名（100%）、大学院は 206 名中 93 名（45.1%）であり、総計 1050 名中 921 名（87.7%）であった。大学院は社会人入学が多く、大学の学生健診を受診する割合が少なかった。

#### 2. 新入生健康診断

新入生における現症または所見のある者の中で、頻度の高い疾患および状態像は、やせ（BMI18%未満）が 12 名、アレルギー体質が 11 名、気管支喘息が 4 名などであった。心電図検査結果では、洞性徐脈が 2 名、ST-T 異常が 2 名、不完全右脚ブロックが 2 名、異常 Q 波が 2 名などであった。

#### 3. 健康相談者数

内科系では 125 名（延数 136 名）、外科系では 25 名（延数 25 名）、心理系では 24 名（延数 28 名）、その他 38 名（延数 38 名）、総計 212 名（延数 227 名）の健康相談があった。医療機関の紹介を行った件数は 127 であった。

今年度は、カウンセラーの協力を得、新入生だけでなく在学生のスクリーニング検査を実施した。その結果、継続カウンセリングへ移行したり、12 名を病院紹介するなどし、対応を行った。今後は呼び出しを行っても面談に来ない学生をどのようにカウンセリングに繋げていくかが課題である。

#### 4. 健康診断証明書発行状況

1年間を通じて、368通の健康診断証明書を発行した。発行件数が多い月は、10月159件、3月70件の順であった。10月は免疫の記録を卒業生全員に配布、3月は国家試験免許申請のための診断書発行件数が多い。

#### 5. 保健管理センター利用状況

保健管理センターの利用件数は7143件であった。

今年度は、4月に学生間でインフルエンザの流行が認められた。部活動の勧誘禁止などの措置を講じ、5月の連休明けには終息に至った。また、10月にはいると、百日咳の学生が散発し、しつこい咳が出る学生には、マスクを配布し、病院受診し、百日咳の抗体検査を受けるように指導した。特に病棟実習の学生の対応については、感染制御部と相談して、対応を統一し、院内感染の防止に努めた。

小児感染症（麻疹・風疹・水痘・ムンプス）の検査については、医学部学生と附属病院勤務の医療従事者については100%実施している。しかし、大学院生については、周知を行っても、ほとんど検査実施ができない状況のため、H21年度の対応を検討する必要がある。

独立行政法人化に伴い、職員の健康に関する業務も増加している。H18年9月より職員に対する産業カウンセラーによるスクリーニング面接の計画実施している。スクリーニングだけで終了する場合もあるが、配置転換後の職員や新規採用者（看護部職員を除く）へのスクリーニングは一定の効果をあげていると思われる。

また、職員の相談件数が増加し、特に今年度はパワハラ相談が3件（学内配置換え1件）調査委員会への報告事案が1件であった。

産業保健師により、4月から99名の職員に健康指導を行い、職員の健康増進に勤めているが、この効果については経過を追ってみていく。

#### 6. その他

今年度は医学部で問題行動をとる学生が多く、新入生からタバコ・アルコール・薬物・性教育を強化していく必要があることを痛切に感じた。今後も学生サービス課、附属病院・チューターとの連携を強化し、学生の対戦を行っていく必要がある。

### 評価

本庄および鍋島キャンパスにおける保健管理センターの利用件数は、従来の結果より増加傾向にあり、本学の保健管理センターが学生および職員の保健管理および治療において十分な役割を果たしていると考えられる。

## 課題と対策

- ① 学生のメンタルヘルスの問題は最近、大学4年生の相談例が増えている。進学、就職、卒業研究など問題から、危機的状況にあることが背景にあるものと思われる。メンタルスクリーニングは現在、新入生だけに行っているが、来年度からは1年生・4年生・大学院生に行えるような方法を考えたい。
- ② 教職員における問題点としては、メタボ健診、疲労度蓄積度テストなどのストレス・スクリーニング、休職者への職場復帰プログラム、など、まだ実際に行っていない問題点や対策の余地が多々ある。さらに、来年度は労働安全衛生委員会や人事課とタイアップして、教職員へのサービスをさらに充実させていきたい。

## (2) 研究の領域

### 現 状

保健管理センターの研究の領域は、学生および教職員の身体面およびメンタル面における健康維持および増進を図るには、どのような予防策および早期発見が可能かを検討することにある。その研究の発表の場としては、九州地区大学保健管理研究集会および全国大学保健管理研究集会が毎年開催されている。さらにメンタル面においては、九州地区メンタルヘルス研究協議会、全国大学メンタルヘルス研究会が、研究発表および教育講演の場として、日本学生支援機構の援助の下で、毎年開催されている。

平成20年度における研究発表は以下のとおりである。

1. 木道圭子、福島雅子、永渕久子、武富弥栄子、尾崎岩太、佐藤 武：鶏の生食が原因と思われた集団食中毒の発生について。第46回全国大学保健管理研究集会、平成20年10月28日～30日、京都。
2. 佐藤 武：保健管理を体系化・可視化する：業務指針の提案 5. メンタルヘルスの指針の試作。第46回全国大学保健管理研究集会、平成20年10月28日～30日、京都。
3. 福島雅子・木道圭子・永渕久子・佐藤 武：急性精神病を発病し緊急入院させた留学生について。第30回全国大学メンタルヘルス研究会、平成21年1月20日～21日、東京。
4. 楊 春燕、佐藤 武：日本人と中国人の大学生における **internet addiction** に関する比較研究。第30回全国大学メンタルヘルス研究会、平成21年1月20日～21日、東京。



保健管理センターからの研究発表は日頃の診療活動だけではなく、十分な発表や研究も行われていると考えられる。

## 評価

研究の分野は保健管理センターのメインな活動ではないが、ある程度の学会発表、研究を行わなければならない状況にある。現在の研究活動は時間的な制限があり、十分とはいえないが、一般的な評価に耐えられるだけの発表および論文は行ってきた。総じて、他大学と比較して、研究発表および論文数は多く、高く評価できると思われる。

## 課題と対策

研究の分野は保健管理センターのメインな活動ではないが、近年、大学院学生が数名入学しており、保健管理業務の内容をテーマとした研究課題を考えつつある。教職員は日常診療に追われ、研究のための時間を見出すことが困難であるため、大学院生を中心として、保健管理センターの機能に関連した研究を充実させていく必要がある。

### (3) 国際交流・社会貢献の領域

## 現状

保健管理センターは、大学内における健診、講義、研究にとどまらず、佐賀県における健康に関連する会議、講演、普及活動にも積極的に取り組んでいる。所長はメンタルヘルスに関連する講演、副所長は肝疾患に関連する講演、看護師はエイズ関連の講演（性教育など）に関連する講演を年間通じて行っており、それらの分野における活動は佐賀県の重要な役割を担っている。

国際交流に関しては、積極的に大学院生を海外からも受け入れており、中国の留学生への教育も行ってきた。今後も積極的に海外の留学生を大学院生として受け入れる予定である。

## 評価

本庄キャンパスでは、博士課程大学院生として中国から2名の学生を受け入れ、鍋島キャンパスでは1名をうけている。また、社会貢献として、鍋島キャンパスでは、肝炎などの肝臓疾患に対する佐賀県の活動を率先して協力し、本庄キャンパスでは佐賀新聞文化セ

ンターと協力しながら、メタボの予防、うつ病の予防活動を展開している。いずれも、評価としては十分な活動を行っていると考ええる。

## 課題と対策

今後の課題としては、保健管理センターの活動を、アジア地域と連携しながら、学生支援の充実に向けて、共同研究を行っていくことが重要であると考ええる。共同で調査研究ができるようなメンタルスクリーニングの質問票の作成や、肥満・運動不足などの身体面における問題点を討議しあうカンファレンスなどを行っていききたい。社会貢献については、従来通りの活動が途絶えないように、佐賀県や佐賀市と連携しながら、さらに充実させていききたい。

## (4) 組織運営の領域

### 現 状

保健管理センターでは、組織運営を円滑に行うために、年2回（6月と3月）の保健管理センター運営委員会を開催している。人事や健診結果の総まとめ、今後の計画などが検討課題として提出される。出席者は各学部より2名の代表者、学務部部长、保健管理センター職員、学生生活課などのメンバーで構成される。

平成20年度も例年と同様に、2回の保健管理センター運営委員会が開催され、半数以上の委員が出席され、円滑に委員会を執り行うことができた。

さらに、労働安全衛生法の施行より、毎月1回の巡視、毎月1回の労働安全衛生委員会に出席し、学内の健康安全問題について、意見を述べた。

その他、保健管理センターでは、大学内の主要な委員会にもメンバーあるいはオブザーバーとして参加し、意見を述べている。大学教育委員会（オブザーバー）、学生委員会（オブザーバー）、入試委員、遺伝子組み換え委員、医学系研究科委員、施設マネジメント委員、学生相談支援部門委員、教育室会議委員、附属中学校・学校保健委員、附属特別支援学校・学校保健委員、などである。

### 評 価

大学の学生および教職員の健康問題に関する各種委員会はすべて出席しており、十分な機能を果たしていると評価できる。

## 課題と対策

学生や教職員がかかえる問題をすべて掌握し、そこに抱える問題や対策を十分大学の中枢部に伝えきれていない可能性がある。今後、教育室会議や労働安全衛生委員会などを通じて、学長を含めた大学管理の中枢組織に問題点を伝え、何らかの対策および予防ができる働きかけを続けていく。その問題点として、現在重要な課題は、教職員の休職および復職に関する対応、休学退学などへの対応である。

## (5) 施設の領域

### 現 状

保健管理センターの健診業務では、毎年テントを張って、学生の更衣室を増設しているが、センターの2階に部屋の増設が可能であるため、部屋の拡充に関する要求書を提出した。さらに、2階にも、医療機器が保管する部屋が現在ないために、カウンセリングルームの一部を利用しているため、医療機器収納のための部屋を要求している、本年度はそれらに加えて、玄関の受付が狭く、非常に業務が行いにくいこともあり、受付の拡充に関する施設拡張を提出した。将来的に、各部屋が有効に活用されるために、施設増築の要求を継続的に提出していく予定である。この施設拡張に関する要求が受け入れられれば、保健管理センターのサービスもさらに向上していくものと思われる。

### 評 価

保健管理センターの設備は徐々に充実してきているが、まだ、メタボ健診は開始しているもの、メタボへの理解を深めるセミナーなどを開催は行っていない。そのための場所や部屋の確保が十分でないことは、評価できるものではない。評価としては不十分である。

### 課題と対策

学生や教職員の健康問題をレクチャーするための部屋の確保が重要である。また、最近では大学においても、フィットネスなどの運動施設を併設しているところがあり、そのような設備が整った大学を参考にしながら、佐賀大学においても、エアロビ、トレッドミル、バイクなどの運動機器を備えた部屋を大学へ要求していくことが、この方面の対策であるといえる。積極的に、予算請求を行っていく。



# 佐賀大学保健管理センター(本庄キャンパス)

## 平成 20 年度学生の健康管理実施状況

### 1 定期健康診断

(1) 平成 20 年度受診状況	1
(2) 過去5か年の受診状況	2
(3) 胸部X線検査結果	3
(4) 心電図検査結果(在学生)	4
(5) 尿検査結果	5
(6) 血圧測定結果	6

### 2 新入生健康診断

(1) 既往歴のある者, 現症または所見のある者	7
(2) 心電図検査結果	7

### 3 新入生健康調査

### 4 外国人留学生健康診断結果

### 5 外国人留学生保健管理センター利用状況

### 6 スポーツ学生健康診断結果

### 7 健康相談者数

### 8 健康診断証明書発行状況

### 9 麻疹抗体検査実施状況

### 10 保健管理センター利用状況

#### (1) 平成 20 年度

#### (2) 平成 19 年度

# 平成20年度学生の健康管理実施状況

## 1 定期健康診断

### (1) 平成20年度受診状況

年次 区 分 部	2008年度入学			2007年度入学			2006年度入学			2005年度入学			2004年度以前入学			大学院			総計		
	対象者	受診者	受診率	対象者	受診者	受診率	対象者	受診者	受診率	対象者	受診者	受診率	対象者	受診者	受診率	対象者	受診者	受診率	対象者	受診者	受診率
文化教育学部	256	256	100.0	262	237	90.5	290	265	91.4	275	240	87.3	52	18	34.6	118	94	79.7	1,253	1,110	88.6
経済学部	313	313	100.0	309	265	85.8	302	264	87.4	300	247	82.3	90	36	40.0	25	22	88.0	1,339	1,147	85.7
理工学部	537	534	99.4	521	434	83.3	537	439	81.8	561	432	77.0	288	137	47.6	507	377	74.4	2,951	2,353	79.7
農学部	166	165	99.4	153	146	95.4	168	155	92.3	169	150	88.8	25	14	56.0	134	114	85.1	815	744	91.3
研究生 科目等履修生 特別研究生 特別聴講生																106	66	62.3	106	66	62.3
計	1,272	1,268	99.7	1,245	1,082	86.9	1,297	1,123	86.6	1,305	1,069	81.9	455	205	45.1	890	673	75.6	6,464	5,420	83.8

## (2) 過去5か年の受診状

年 度 学 部	平成16年度		平成17年度		平成18年度		平成19年度		平成20年度	
	対象者	受診率	対象者	受診率	対象者	受診率	対象者	受診率	対象者	受診率
文化教育学部	1,161 <sup>人</sup>	89.1 <sup>%</sup>	1,150 <sup>人</sup>	90.3 <sup>%</sup>	1,163 <sup>人</sup>	91.4 <sup>%</sup>	1,130 <sup>人</sup>	89.7 <sup>%</sup>	1,135 <sup>人</sup>	89.5 <sup>%</sup>
経済学部	1,313	83.2	1,310	83.0	1,324	83.7	1,310	84.4	1,314	85.6
理工学部	2,439	82.1	2,429	83.5	2,397	81.1	2,423	78.0	2,444	80.9
農学部	664	88.9	671	90.9	668	91.0	668	89.2	681	92.5
大学院	829	73.2	811	73.2	808	71.8	809	75.5	784	77.4
研究生 科目等履修生 特別研究生 特別聴講生	82	59.8	88	61.4	108	56.5	117	48.7	106	62.3
総計	6,488	82.8	6,459	83.8	6,468	82.9	6,457	81.7	6,464	83.8

(3) 胸部X線検査結果

区 学 分 部	間接撮影		直接撮影				精密検査			医 療 機 関 中
	受 検 者	要 直 接 撮 影 者	受 検 者	異 常 な し	要 観 察	要 精 査	異 常 な し	要 観 察	要 治 療	
文化教育学部	1,016	3	3	3	0	0	0	0	0	0
経済学部	1,125	0	0	0	0	0	0	0	0	0
理工学部	1,976	10	10	5	3	2	0	0	2	0
農学部	630	4	4	3	0	1	0	1	0	0
大学院・研究生 その他	673	5	5	2	2	1	0	0	1	0
計	5,420	22	22	13	5	4	0	1	3	0



(4)心電図検査結果(在学生)

区分 学部	一次検診		心電図検査				精密検査			医療機関 通院中	
	受検者	対象者	受検者	異常なし	要観察	要精査	異常なし	要観察	要治療		
文化教育学部	760	要心電図	27	26	24	1	1	0	1	0	0
		要追跡者	14	12	6	3	3	0	3	0	0
経済学部	812	要心電図	5	5	4	0	1	0	1	0	0
		要追跡者	32	25	9	15	1	0	1	0	0
理工学部	1,442	要心電図	20	18	15	2	1	0	1	0	0
		要追跡者	64	50	17	29	4	0	4	0	0
農学部	465	要心電図	14	14	14	0	0	0	0	0	0
		要追跡者	18	18	8	9	1	0	1	0	0
大研そ 学究の 院生他	673	要心電図	33	33	26	7	0	0	0	0	0
		要追跡者	13	12	8	4	0	0	0	0	0
計	4,152	要心電図	99	96	83	10	3	0	3	0	0
		要追跡者	141	117	48	60	9	0	9	0	0

## (5)尿検査結果

受 検 者	分 類	学 部	一次 検査	二次検査			三次検査				精密検査			医 通 療 院 機 中 関		
			要 検 二 次 査	受 検 者	異 な 常 し	要 検 三 次 査	受 検 者	異 な 常 し	要 追 跡	要 精 査	異 な 常 し	経 観 過 察	要 治 療			
5,420	糖	文化教育学部	7							7	2	3	1	1		
		経済学部	2							2	2	0	0	0		
		理工学部	14							14	4	8	1	1		
		農学部	1							1	1	0	0	0		
		計	24							24	9	11	2	2		
	蛋白	文化教育学部	12	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
		経済学部	22	20	16	4	3	2	1	0	0	0	0	0	0	
		理工学部	63	52	48	4	4	2	1	1	0	1	0	0		
		農学部	7	5	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
		小計	104	86	69	8	7	4	2	1	0	1	0	0	3	
	潜血	文化教育学部	16	11	9	2	2	0	1	1	0	1	0	0	1	
		経済学部	20	16	12	4	3	0	1	2	0	2	0	0	2	
		理工学部	29	27	22	5	3	1	1	1	0	1	0	0	2	
		農学部	16	14	11	3	2	0	0	2	0	2	H20	0	1	
		研究生等	3	3	2	1	1	0	0	1	0	1	0	0	0	
		小計	84	71	56	15	11	1	3	7	0	7	0	0	6	
	蛋白・潜血	文化教育学部	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
		経済学部	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
		理工学部	7	6	5	1	1	0	0	1	0	1	0	0	0	
		農学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		小計	14	8	5	1	1	0	0	1	0	1	0	0	3	
	計			202	165	130	24	19	5	5	9	0	9	0	12	
	合 計			226	165	130	24	19	5	5	33	9	20	2	14	



## 2 新入生健康診断

対象者1272名 受診者 1268名 受診率 99.7%

### (1)既往歴のある者、現症または所見のある者

病名	既往歴のある者	現症または所見のある者
気管支喘息	32	4
肺気胸	2	0
(胸部レントゲン)	-	D3(14) 側弯(7) 心拡大(4)
心疾患	14	1
心雑音	2	7
高血圧傾向	0	11
IgA腎症・ネフローゼ	2	0
尿蛋白・潜血陽性	1	2
糖尿病	1	0
尿糖陽性	0	1
肝炎・膵炎	2	0
胃・十二指腸潰瘍	1	0
胃・腸炎・クローン病	2	1
腹部手術	2	0
アトピー性皮膚炎	19	5
アレルギー性鼻炎	3	10
貧血	1	0
甲状腺腫・バセドウ病	1	1
やせ BMI18未満	-	101
肥満 BMI30以上	-	31
骨・関節疾患	25	0
難聴	1	0
その他	10	0
計	121	175

### (2)心電図検査結果

心電図所見	受診者数	男	女	計
		772	496	
右房負荷	1	0		1
右室肥大	1	1		2
左房負荷	1	0		1
R波増高不良	3	2		5
ST-T異常	7	8		15
平低T・陰性T	6	7		13
左軸偏位	2	0		2
WPW症候群	5	1		6
不完全右脚ブロック	12	1		13
完全右脚ブロック	8	1		9
心室内伝導障害	5	1		6
I度房室ブロック	4	1		5
上室性期外収縮	1	1		2
心室性期外収縮	4	2		6
洞性徐脈	0	3		3
洞性頻脈	5	1		6
Brugada型	2	0		2
その他	6	0		6
計	73	30		103

1268名中 心電図再検査11名

(心電図再検査11名中5名は経過観察となる)

### 3 新 入 生 健 康 調 査

#### (1) 回収率および面接実施率

学 部	対象人数 人	回収人数 人	回収率 %	要面接者数 人	面接者数 人	面接実施率 %
文化教育学部	257	183(135)	71.2%	59	33	55.9%
経済学部	315	196 (99)	62.2%	61	36	59.0%
理工学部	544	339 (70)	62.3%	112	63	56.3%
農学部	168	121 (82)	72.0%	36	27	75.0%
医学部	155	153 (97)	98.7%	18	7	38.9%
計	1439	992(483)	68.9%	286	166	58.0%

( )は内数で女子を示す

#### (2) 結果

##### ① 回収者全体(992人)からの結果

	全体	文化教育 学部	経済 学部	理工学部		農学部	医学部
				理学	工学		
CMHQ $\geq$ 15	286人 28.8%	59人 32.2%	61人 31.1%	30人 34.5%	82人 32.5%	36人 22.3%	18人 11.8%

(但し、College Mental Health Questionnaire (CMHQ)が15点以上を面接対象とした)

##### ② 来所者(166人)からの結果 (DSM-IVに基づく精神疾患の診断、N=21)

大うつ病エピソード	2
気分変調症	2
自殺の危険	0
躁病エピソード	1
パニック障害	3
広場恐怖	1
社会恐怖(社会不安障害)	2
強迫性障害	2
外傷後ストレス障害	0
アルコール依存・アルコール乱用	0
薬物依存・薬物乱用	0
精神病性障害	0
神経性無食欲症	1
神経性大食症	1
全般性不安障害	6
反社会性人格障害	0
性同一性障害	0
その他(過敏性大腸炎、身体表現性障害)	3

(精神疾患の診断は、Mini-International Neuropsychiatric Interview を用いて DSM-IV 診断を行った。なお、上記の結果は、double diagnosis を含む)

## 4 外国人留学生健康診断結果

検診項目 (Ⅰ)内科診察 (Ⅱ)心電図検査 (Ⅲ)血液検査(肝機能・脂質・血算)

	前期 2008.5.21～22	後期 2008.10.22
対象者	309名	125(87)名
受診者	249名	110(77)名
受診率	80.6%	88.0(88.5)%

( )は後期入学者数

### (Ⅰ)異常所見または症状のある者

	異常所見または症状	前期	後期 (新入生)
1	陳旧性肺結核	1	0
2	喘息	2	1
3	高血圧傾向	6	3
4	高脂血症	1	1
5	糖尿病	1	0
6	胃炎・十二指腸潰瘍	8	4
7	血小板減少症	2	0
8	貧血	1	0
9	甲状腺腫	2	0
10	アレルギー性皮膚炎	0	1
11	てんかん	1	0
12	肥満(BMI 30以上)	10	2
13	やせ(BMI 18.5以下)	29	18

### (Ⅲ)血液検査で異常を示す者

	血液検査異常所見	前期	後期 (新入生)
1	肝機能障害 (脂肪肝)	12 (2)	6 (2)
2	B型肝炎ウイルス陽性 (e抗原陽性)	7 (3)	4 (2)
3	高脂血症	28	4
4	HDL コレステロール低値	29	7
5	高尿酸血症	18	1
6	貧血	7	3

### (Ⅱ)心電図異常

	心電図異常所見	前期	後期 (新入生)
1	△波	1	0
2	R波増高	1	0
3	不完全右脚ブロック	2	0
4	Brugada型	1	0
5	左軸偏位	1	1
6	平低T	1	0
7	洞性不整脈	1	0

### (Ⅳ)血液検査追跡結果

前期 ⇒ 後期	
改善	13
不変	15
悪化	5

## 5 外国人留学生保健管理センター利用状況

(利用者数)

	留学生数	利用者実数	利用者延数
男子	190	102	225
女子	156	60	100
計	346	162	325

( H 20.10.1 現在の留学生在籍者数 )

(内訳)

区分	症状分類	利用者数	医療機関紹介
内科系	呼吸器症状	53	7
	消化器症状	14	4
	循環器症状	3	1
	頭痛・神経症状	3	0
	その他の内科症状	139	17
	体調不良	6	0
心理	メンタルヘルス	8	1
外科系	骨・関節・筋肉等症状	21	4
	擦過傷・切傷	20	1
	その他の外科症状	2	0
その他	皮膚科症状	16	5
	眼科症状	10	2
	耳鼻科症状	15	3
	婦人科症状	1	1
	泌尿器科症状	3	0
	歯科・口腔内症状	6	0
	計測および検査	5	0
計		325	46

## 6 スポーツ学生健康診断結果

種 目	対象者	受診者	受診率	異常なし	異常所見者				精密検査			医 通 療 院 機 中 関
					血圧	尿	心電図	その他	異常 なし	経過 観察	要治療	
アーチェリー部	人 18	人 11	% 61.1%	人 9	人 1	人 0	人 0	人 1	人 0	人 2	人 0	人 1
合気道部	25	23	92.0%	21	0	1	0	1	0	2	0	1
アイスホッケー部	23	14	60.9%	13	0	0	0	1	0	1	0	1
アメリカンフットボール部	24	11	45.8%	10	1	0	0	0	0	1	0	0
空手道部	15	14	93.3%	12	0	1	0	1	0	2	0	1
弓道部	19	16	84.2%	14	0	0	1	1	0	2	0	2
競技ダンス部	14	9	64.3%	9	0	0	0	0	0	0	0	0
剣道部	51	34	66.7%	34	0	0	0	0	0	0	0	0
硬式テニス部	36	34	94.4%	33	0	0	1	0	0	1	0	0
サイクリング部	8	6	75.0%	5	0	0	1	0	0	1	0	0
サッカー部	42	35	83.3%	30	0	0	0	5	0	5	0	5
柔道部	16	13	81.3%	12	0	0	1	0	0	1	0	0
準硬式野球部	34	16	47.1%	16	0	0	0	0	0	0	0	0
少林寺拳法部	21	15	71.4%	14	0	0	1	0	0	1	0	0
水泳部	29	10	34.5%	10	0	0	0	0	0	0	0	0
ソフトテニス部	36	25	69.4%	23	0	0	1	1	0	2	0	1
ソフトボール部	29	18	62.1%	15	0	2	1	0	1	2	0	1
卓球部	27	13	48.1%	12	0	0	0	1	0	1	0	1
探検部	21	7	33.3%	7	0	0	0	0	0	0	0	0
テコンドー部	7	5	71.4%	5	0	0	0	0	0	0	0	0
熱気球部	30	3	10.0%	3	0	0	0	0	0	0	0	0
バスケットボール部(女子)	12	9	75.0%	7	0	0	1	1	0	2	0	1
バスケットボール部(男子)	21	11	52.4%	10	0	1	0	0	0	1	0	0
バドミントン部	30	22	73.3%	20	0	0	1	1	0	2	0	1
バレーボール部(女子)	18	15	83.3%	13	0	△ 1	1	△ 1	0	2	0	1
バレーボール部(男子)	13	10	76.9%	9	0	0	1	0	0	1	0	0
ハンドボール部	17	12	70.6%	11	0	0	1	0	0	1	0	0
ラグビー部	21	15	71.4%	15	0	0	0	0	0	0	0	0
陸上競技部	37	24	64.9%	20	1	0	2	1	0	4	0	1
フットサル部 (サークル)	15	15	100%	13	0	0	1	1	0	2	0	1
サッカー部女子 (サークル)	22	15	68.2%	12	0	1	0	2	0	3	0	2
計	731	480	65.7%	437	3	7	15	19	1	42	0	21

△は同一人物



## 7 健康相談者数

H20.2.1～H21.1.31

区 分 学 部	内科系		外科系		心理系		その他		計	
	実数 (延数)	医 関 療 紹 機 介	実数 (延数)	医 関 療 紹 機 介	実数 (延数)	医 関 療 紹 機 介	実数 (延数)	医 関 療 紹 機 介	実数 (延数)	医 関 療 紹 機 介
文化教育学部	99 ( 132 )	50	21 ( 22 )	21	40 ( 180 )	6	49 ( 54 )	52	209 ( 388 )	129
経済学部	54 ( 67 )	32	7 ( 7 )	6	19 ( 71 )	2	26 ( 31 )	27	106 ( 176 )	67
理工学部	181 ( 248 )	113	44 ( 54 )	43	47 ( 281 )	15	62 ( 82 )	66	334 ( 665 )	237
農学部	64 ( 76 )	29	16 ( 17 )	15	33 ( 186 )	5	33 ( 41 )	29	146 ( 320 )	78
医学部 (本庄における)	2 ( 2 )	0	0 ( 0 )	0	8 ( 38 )	2	0 ( 0 )	0	10 ( 40 )	2
特別聴講生 特別研究生等	30 ( 42 )	7	6 ( 6 )	2	1 ( 1 )	0	11 ( 12 )	11	48 ( 61 )	20
卒業生	0 ( 0 )	0	0 ( 0 )	0	2 ( 3 )	1	0 ( 0 )	0	2 ( 3 )	1
計	430 ( 567 )	231	94 ( 106 )	87	150 ( 760 )	31	181 ( 220 )	185	855 ( 1653 )	534

## 8 健康診断証明書発行状況

学 部	月		計											
	平成19年度	平成20年度	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
文化教育学部	99	72	0	1	81	125	63	37	15	1	0	23	517	
経済学部	127	224	0	1	134	64	11	27	11	7	13	8	627	
理工学部S	64	107	0	0	59	40	6	16	16	0	1	0	309	
理工学部T	213	317	0	0	76	19	22	23	10	5	4	100	789	
農学部	132	209	0	0	98	21	10	12	5	11	26	116	640	
教育学研究科	1	5	0	0	9	3	5	0	4	6	1	4	38	
経済学研究科	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	2	0	5	
工学系研究科	139	214	0	1	60	25	13	4	12	27	23	42	560	
農学研究科 (含む、連大)	30	84	0	0	18	1	4	3	1	7	39	86	273	
研究生 特別聴講生 科目等履修生	1	0	0	0	24	0	1	0	0	0	1	1	28	
計	806	1232	0	3	561	298	135	122	75	64	110	380	3786	

## 9. 麻疹抗体検査実施状況

「麻疹の流行に伴う大学等の教育実習生に対する指導」に基き、当大学においても感染拡大・防止のため教育実習・介護等体験に参加する学生を対象に麻疹の罹患歴・麻疹ワクチン接種状況の問診と抗体検査を実施した。

佐賀大学の方針：教育実習・介護等体験に参加できる学生は、麻疹の抗体を有していると判断された学生  
(H19.12.10 第6回大学教育委員会において決定)

### 第1回 麻疹抗体検査

実施期間	H20.5.7～H20.5.8	
対象者	292	
麻疹抗体検査受診者 (麻疹抗体検査EIA(IgG)法にて実施)	275	未受診者に対しては、抗体検査の必要性を説明し他医療機関においての検査をすすめた
(-)2.0未満	6	抗体検査後医療機関にてワクチン接種
(±)2.0～3.9	16	抗体検査後医療機関にてワクチン接種
(+)4.0以上	253	受診者の92%は抗体を有している

抗体(-)(±)の22名中、14名は過去(幼少時)に麻疹またはMMRワクチン接種を行っている。

### 第2回 麻疹抗体検査

実施期間	H20.6.25	
対象者	53	内22名は第1回時抗体(-)(±)でワクチン接種を受けた学生
麻疹抗体検査受診者 (麻疹抗体検査EIA(IgG)法にて実施)	44	前回抗体(-)(±)でワクチン接種を受けた22名は全員受診
(-)2.0未満	0	
(±)2.0～3.9	0	
(+)4.0以上	44	

10 保健管理センター利用状況（本庄地区）

(1) 平成20年度

(H20. 4. 1～H21. 1. 31までの延件数)

区 月 分 別	内科系							メンタルヘルス	小 計	外科系			その他					小 計	検査及び測定等						小 計	総 計		
	呼吸器 症状	消化器 症状	循環器 症状	内分泌 代謝 異常 症状	頭痛・ 神経 症状	その他 内科 症状	体調 不良 等			骨・ 関節 肉等 筋 症状	擦過 傷・ 切傷 等	その他 外科 症状	皮膚 科 症 状	眼科 症 状	耳鼻 科 症 状	婦人 科 症 状	泌尿 器 科 症 状		歯科 腔内 口 症 状	身体 計測 等	尿 検 査	血 圧 測 定	心 電 図	採 血 等			その他	ベ ッ ド 休 養
4月	34	4	0	0	1	8	4	41	92	5	29	0	10	6	2	3	2	2	59	0	88	58	0	1	18	2	167	318
5月	37	16	2	2	5	33	3	67	165	28	38	0	18	9	6	7	0	4	110	0	101	78	84	496	260	5	1,024	1,299
6月	26	8	1	1	5	65	11	71	188	14	34	3	15	9	1	7	1	5	89	0	11	11	406	44	14	8	494	771
7月	16	6	3	0	5	13	16	83	142	19	48	2	25	5	3	4	1	6	113	50	7	11	3	0	79	11	161	416
8月	4	2	1	0	0	11	1	48	67	6	17	4	7	0	0	0	0	0	34	50	1	11	2	0	16	1	81	182
9月	10	8	1	0	1	12	3	49	84	7	10	5	7	1	3	5	0	3	41	10	1	7	75	0	51	4	148	273
10月	26	18	2	0	4	9	1	68	128	18	38	5	17	7	6	5	5	11	112	51	3	28	79	110	106	4	381	621
11月	34	7	0	0	4	46	2	65	158	14	22	4	10	6	1	5	0	1	63	43	1	11	19	0	23	4	101	322
12月	30	7	0	0	0	5	3	84	129	17	22	4	9	7	3	3	0	3	68	10	2	10	1	0	4	7	34	231
1月	54	7	1	0	1	9	3	56	131	8	12	2	6	3	1	4	1	5	42	23	15	16	1	6	73	9	143	316
学生計	271	83	11	3	26	211	47	632	1,284	136	270	29	124	53	26	43	10	40	731	237	230	241	670	657	644	55	2,734	4,749
職員	147	61	13	8	38	249	13	125	654	41	30	4	26	5	2	6	4	10	128	11	7	170	21	0	76	21	306	1,088
総計	418	144	24	11	64	460	60	757	1,938	177	300	33	150	58	28	49	14	50	859	248	237	411	691	657	720	76	3,040	5,837
定期健康診断(学生)																	5,420	5,420	5,420	1,481								

## (2) 平成19年度

(H19. 4. 1～H20. 3. 31までの延件数)

区 分 別	内科系							メンタルヘルス	小 計	外科系			その他						小 計	検査及び測定等						小 計	総 計	
	呼吸器 症状	消化器 症状	循環器 症状	内分泌 代謝 異常 症状	頭痛・ 神経 症状	その他 内科 症状	体調 不良 等			骨・ 関節 肉等 筋 症状	擦過 傷・ 切傷 等	その他 外科 症状	皮膚 科 症 状	眼科 症 状	耳鼻 科 症 状	婦人 科 症 状	泌尿 器 科 症 状	歯科 腔内 口 症 状		身体 計測 等	尿 検 査	血 圧 測 定	心 電 図	採 血 等	その他			ベ ッ ド 休 養
4月	33	9	0	3	5	17	10	31	108	32	28	1	7	4	1	1	2	2	78	1	71	69	0	1	2	11	155	341
5月	45	10	2	3	2	29	9	59	159	28	34	2	19	8	3	13	4	8	119	0	83	62	75	928	262	8	1,418	1,696
6月	49	7	2	12	1	152	4	49	276	17	32	4	23	11	3	11	1	2	104	15	15	17	3	43	571	10	674	1,054
7月	25	14	1	4	5	34	11	70	164	10	39	0	22	6	4	1	3	5	90	20	16	12	401	2	374	12	837	1,091
8月	4	4	1	4	1	2	3	12	31	5	9	1	4	1	1	0	0	2	23	20	4	13	0	0	5	2	44	98
9月	2	3	7	1	1	130	5	14	163	5	21	4	9	2	3	3	0	3	50	10	2	6	65	0	13	2	98	311
10月	36	15	21	1	1	17	11	31	133	15	39	5	20	9	2	1	3	9	103	10	9	10	23	6	47	15	120	356
11月	57	11	10	18	4	29	8	74	211	46	38	3	9	6	1	2	0	2	107	30	2	15	69	87	119	8	330	648
12月	28	15	5	2	0	8	1	69	128	18	11	4	11	7	2	5	0	0	58	30	15	49	6	0	17	6	123	309
1月	25	9	1	1	0	14	2	57	109	16	16	6	3	5	2	3	5	4	60	30	3	19	2	14	109	4	181	350
2月	18	5	0	0	2	27	0	75	127	15	8	2	5	2	5	1	0	4	42	16	8	5	0	88	10	2	129	298
3月	13	11	0	0	4	11	1	68	108	13	9	1	3	3	7	0	2	1	39	10	0	5	0	20	14	0	49	196
学 生 計	335	113	50	49	26	470	65	609	1,717	220	284	33	135	64	34	41	20	42	873	192	228	282	644	1,189	1,543	80	4,158	6,748
職 員	133	61	11	36	32	354	8	97	732	39	30	8	25	6	1	5	2	6	122	38	7	215	9	3	72	15	359	1,213
総 計	468	174	61	85	58	824	73	706	2,449	259	314	41	160	70	35	46	22	48	995	230	235	497	653	1,192	1,615	95	4,517	7,961
定期健康診断(学生)																				5,273	5,273	5,273	1,416					

# 佐賀大学保健管理センター(鍋島キャンパス)

## 平成 20 年度学生の健康管理実施状況

### 1 定期健康診断

(1) 平成 20 年度受診状況	1
(2) 過去5か年の受診状況	2
(3) 胸部X線検査結果	2
(4) 尿検査結果	2
(5) 血圧検査結果	3

### 2 新入生健康診断

(1) 既往歴のある者, 現症または所見のある者	4
(2) 心電図検査結果	4
(3) 新入生麻疹・風疹・水痘・ムンプス抗体検査結果	4
(4) 新入生麻疹・風疹・水痘・ムンプスワクチン接種者	4

### 3 ワクチン接種状況

(1) 平成 20 年B型肝炎ワクチン接種結果	5
(2) インフルエンザワクチン	5

### 4 健康相談者数

### 5 健康診断証明書発行状況

### 6 保健管理センター利用状況

(1) 平成 20 年度	7
(2) 平成 19 年度	8

## 平成20年度学生の健康管理実施状況

### 1 定期健康診断

#### (1) 定期健康診断受診状況

	学 年	学生数	内科診察		健康診断X-P撮影	
			受診	受診	受診	受診
医学科	1 年	95	95	100.0	95	100.0
	2 年	106	98	92.5	98	92.5
	3 年	96	90	93.8	90	93.8
	4 年	96	95	99.0	95	99.0
	5 年	89	89	100.0	89	100.0
	6 年	98	97	99.0	97	99.0
	計	580	564	97.2	564	97.2
看護学科	1 年	60	60	100.0	60	100.0
	2 年	60	60	100.0	60	100.0
	3 年	61	61	100.0	61	100.0
	4 年	63	63	100.0	63	100.0
	3年編入	10	10	100.0	10	100.0
	4年編入	10	10	100.0	10	100.0
	計	264	264	100.0	264	100.0
大学院	206	93	45.1	93	45.1	
総計	1,050	921	87.7	921	87.7	

\*

\*医学6年は結核暴露のため、6名は附属病院で胸部X-P受診

(2) 過去5年間の受診状況

	平成16年度		平成17年度		平成18年度		平成19年度		平成20年度	
	対象者	受診率	対象者	受診率	対象者	受診率	対象者	受診率	対象者	受診率
医学部	846人	98.4%	837人	97.5%	840人	96.7%	841人	97.9%	844人	98.1%
大学院	96人	46.9%	126人	60.3%	168人	51.2%	190人	48.4%	206人	45.1%

(3) 胸部X-P検査結果

	間接撮影				精密検査			医療機関	通院中
	受検者	異常なし	要観察	要治療	異常なし	要観察	要精査		
医学部	828	828	0	0	0	0	0	0	
大学院	93	93	0	0	0	0	0	0	
計	921	921	0	0	0	0	0	0	

(4) 尿検査結果

	一次検査	二次検査			三次検査				精密検査			医療機関 通院
	要二次検査	受検者	異常なし	要三次検査	受検者	異常なし	要追跡	要精査	異常なし	経過観察	要治療	
糖	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
蛋白	22	12	10	2	1	0	1	0	0	0	0	0
潜血	18	7	4	3	2	0	1	1	0	1	0	1
蛋白・ 潜血	6	4	1	3	0	0	0	0	0	0	0	2
計	47	23	15	8	3	0	2	1	0	1	0	4



(5) 血圧測定結果

		一次検査	二次検査			三次検査				精密検査			通院治療
		要二次検査	受検者	異常なし	要三次検査	受検者	異常なし	要追跡	要精査	異常なし	経過観察	要治療	
高血圧	140mmHg以上	32	18	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	90mmHg以上	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	140以上かつ90mmHg以上	8	5	0	5	4	0	4	0	0	0	0	0
低血圧	90mmHg以下	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

## 2 新入生健康診断

### (1) 既往歴のある者、現症または所見のある者

病名	既往歴	所見のある者
アレルギー体質	11	11
耳鼻科疾患	5	4
気管支喘息	4	3
心電図異常	3	1
コーツ病(浸出性網膜炎)	1	1
I型糖尿病	1	1
紫斑病	1	0
アナフィラキシーショック	1	-
網膜はく離	1	1
やせBMI18未満	-	12
肥満BMI30以上	-	0
計	28	34

### (2) 心電図検査結果

病名	内訳
上室性期外収縮	1
右軸偏位	1
異常Q波	2
ST-T異常	2
完全右脚ブロック	1
不完全右脚ブロック	2
洞性徐脈	2
洞房ブロック	1
計	12

### (3) 新入生麻疹・風疹・水痘・ムンプス抗体検査結果

ワクチン 抗体価	ムンプス	麻疹	風疹	水痘
2.0未満	10	3	12	1
2.0~4.0未満	27	5	15	4
8.0未満	-	18	-	-
ワクチン接種対象者	37	26	27	5

検査対象者 155 名中、水痘・ムンプス・風疹は抗体価4.0 未満を接種対象とし、麻疹は 8.0 以下をワクチン接種対象とした。

### (4) 新入生麻疹・風疹・水痘・ムンプスワクチン接種者 (新入生 155 人)

	ムンプス	麻疹	風疹	水痘
接種対象者	37	26	27	5
接種者	36	23	27	6*
未接種者	1	3	0	0

\*価が低いため、接種希望有。追加接種

### 3 ワクチン接種状況

#### (1) 平成 19 年 B 型肝炎ワクチン接種結果

	学生数	受検者数	HBs抗体(+)	ワクチン対象者	*ワクチン申込者	HBs抗体陽転者	接種後HBs抗体(-)
医学科 4 年	96	96	3	93	93	86	6
看護学科 2 年	60	60	0	60	60	58	2
計	156	156	3	153	153	144	8

\* 3 回B肝ワクチン接種後陽転しなかった学生は、1 月と 2 月に倍量接種 2 回を実施する。

1 名はワクチン完了できていないため、後日検査実施。

#### (2) インフルエンザワクチン

	学生数	接種者	接種率
看護 1 年	60	6	10.0
看護 2 年	60	57	95.0
看護 3 年	61	60	98.4
看護 4 年	63	46	73.0
編入 3 年	10	8	80.0
編入 4 年	10	1	10.0
医学 1 年	95	5	5.2
医学 2 年	106	77	72.6
医学 3 年	96	26	27.1
医学 4 年	96	34	35.4
医学 5 年	89	85	95.6
医学 6 年	98	76	77.6
大学院	206	23	11.2
計	1050	504	48.0

#### 4 健康相談者数

	内科系		外科系		心理系		その他		計	
	実数 (延数)	医療機 関紹介	実数 (延数)	医療機 関紹介	実数 (延数)	医療機 関紹介	実数 (延数)	医療機 関紹介	実数 (延数)	医療機 関紹介
医学部	125 (136)	76	25 (25)	11	24 (28)	12	38 (38)	27	212 (227)	126

#### 5 健康診断証明書発行状況

	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	計
学生	7	70	9	3	21	37	20	5	159	11	5	21	368
職員	2	75	1	1	2	4	1	5	4	1	3	1	100

6. 保健管理センター利用状況（鍋島地区）

(1) 平成20年度

(H20. 4. 1～H21. 1. 31までの延件数)

区 月 分 別	内科系							メンタルヘルス	小計	外科系			その他					小計	検査及び測定等					小計	総計			
	呼吸器症状	消化器症状	循環器症状	代謝 内分泌 異常症状	頭痛・神経症状	その他内科症状	体調不良等			骨・関節 筋肉等 症状	擦過傷・切傷等	その他外科症状	皮膚科症状	眼科症状	耳鼻科症状	婦人科症状	泌尿器科症状		歯科 口腔内症状	身体計測等	尿検査	血圧測定	心電図			採血等	その他	ベッド休養
4月	101	10	0	2	1	0	0	2	116	6	3	0	3	0	1	2	0	0	15	27	18	24	5	254	11	4	343	474
5月	38	9	1	2	0	3	4	28	85	4	4	0	5	0	0	5	0	0	18	67	37	14	0	492	13	8	631	734
6月	18	14	0	1	3	1	2	19	58	9	6	0	7	3	0	2	0	0	27	55	9	8	0	402	7	7	488	573
7月	10	2	0	0	6	7	0	32	57	3	5	3	5	2	1	2	0	2	23	29	13	17	1	163	16	2	241	321
8月	3	5	0	0	5	2	0	23	38	3	2	0	5	1	0	0	0	1	12	16	6	4	0	0	0	1	27	77
9月	24	7	0	1	0	0	0	14	46	1	3	0	2	1	0	0	1	0	8	29	1	6	0	0	6	0	42	96
10月	55	5	0	1	2	1	1	20	85	9	6	1	6	1	1	1	1	1	27	37	0	16	3	0	14	0	70	182
11月	54	8	1	1	2	1	2	22	91	4	6	0	4	2	2	1	1	1	21	28	1	17	0	504	14	8	572	684
12月	21	5	0	1	1	1	1	33	63	8	1	0	3	0	0	3	1	1	17	26	0	8	0	180	15	3	232	312
1月	30	6	0	8	1	2	0	23	70	6	2	0	0	1	3	4	0	1	17	26	18	15	1	174	24	7	265	352
学生計	354	71	2	17	21	18	10	216	709	53	38	4	40	11	8	20	4	7	185	340	103	129	10	2169	120	40	2,911	3805
職員	26	12	1	12	12	105	2	222	392	5	0	0	4	3	2	0	0	0	14	36	96	42	3	2695	23	37	2,932	3,338
総計	380	83	3	29	33	123	12	438	1101	58	38	4	44	14	10	20	4	7	199	376	199	171	13	4864	143	77	5843	7143
定期健康診断(学生)																	921	832	921	0	232							

## (2) 平成19年度

(H19. 4. 1~H20. 3. 30までの延件数)

区 分 別	内科系								小 計	外科系			その他					小 計	検査及び測定等						小 計	総 計		
	呼吸器 症状	消化器 症状	循環器 症状	内分 泌 代謝 異常 症状	頭痛・ 神経 症状	その他 内科 症状	体調 不良 等	メン タル ヘル ス		骨・ 関節 筋 肉等 症状	擦過 傷・ 切傷 等	その他 外科 症状	皮膚 科 症 状	眼科 症 状	耳鼻 科 症 状	婦人 科 症 状	泌尿 器 科 症 状		菌 腔 内 口 症 状	身 体 計 測 等	尿 検 査	血 圧 測 定	心 電 図	採 血 等			その他	ベ ッド 休 養
4月	55	3	1	6	6	3	1	14	89	4	4	0	1	0	0	1	1	1	12	66	43	36	0	392	47	8	592	693
5月	50	7	0	3	4	0	3	23	90	7	2	0	5	0	1	4	0	2	21	66	3	25	0	457	24	3	578	689
6月	22	6	0	4	3	3	0	16	54	4	4	0	0	1	2	3	0	2	16	62	2	18	5	421	32	6	546	616
7月	8	1	0	3	4	1	0	20	37	1	0	0	1	1	0	0	0	0	3	45	18	21	2	0	26	5	117	157
8月	2	4	0	0	0	0	1	11	18	0	3	0	2	2	0	0	0	0	7	26	0	18	0	0	27	7	78	103
9月	14	12	0	3	11	0	4	15	59	4	4	0	3	2	1	6	0	0	20	28	2	12	0	0	42	6	90	169
10月	22	3	0	0	4	0	8	12	49	7	6	0	5	0	0	0	0	0	18	53	3	25	5	167	26	14	293	360
11月	57	10	3	0	1	1	1	8	81	6	1	0	3	1	0	1	0	1	13	24	0	16	4	650	24	15	733	827
12月	23	5	1	1	4	1	3	9	47	4	0	0	1	1	4	0	0	4	14	49	62	23	1	146	37	13	331	392
1月	27	5	0	0	1	1	0	12	46	6	2	0	1	0	0	0	0	2	11	37	23	15	0	164	25	23	287	344
2月	15	11	0	0	2	0	0	9	46	4	1	0	0	0	0	3	1	2	11	24	0	6	0	5	8	1	44	101
3月	4	4	0	0	0	0	1	5	14	0	5	0	10	0	1	0	0	1	17	17	18	8	2	186	25	4	260	291
学生計	299	71	5	20	40	10	22	154	630	47	32	0	32	8	9	18	2	15	163	497	174	223	19	2588	343	105	3,949	4742
職員	47	20	1	15	2	47	3	343	478	6	2	3	2	2	3	2	1	1	22	36	17	70	0	2517	48	28	2,716	3,216
総計	346	91	6	35	42	57	25	497	1,108	53	34	3	34	10	12	20	3	16	185	533	191	293	19	5105	391	133	6665	7958
定期健康診断(学生)																				917	884	917	5	345				

# 平成20年度保健管理センター活動報告について

## I. 平成20年度学生の健康管理実施状況

### <本庄キャンパス>

#### 【現状分析】

##### 1. 定期健康診断：

新入生 1,272 名中 1,268 名 (99.7%) が定期健康診断を受けた。在学生の 2 年生は 1,245 名中 1,082 名 (86.9%)、3 年生は 1,297 名中 1,123 名 (86.6%)、4 年生は 1,305 名中 1,069 名 (81.9%)、それ以降の学生は 455 名中 205 名 (45.1%)、大学院・研究生などは 890 名中 673 名 (75.6%) であり、総計 6,464 名中 5,420 名 (83.8%) であった。

##### 2. 新入生健康診断：

新入生における現症または所見のある者の中で、頻度の高い疾患および状態像は、肥満 (BMI 30 以上) が 31 名、やせ (BMI 18 未満) が 101 名、アレルギー鼻炎が 10 名、アトピー性皮膚炎が 5 名、心雑音 7 名、高血圧傾向 11 名、気管支喘息が 4 名、などであった。心電図検査結果では、ST-T 異常が 15 名、不完全右脚ブロックが 13 名、平低 T・陰性 T が 13 名、完全右脚ブロックが 9 名、心室性期外収縮 6 名、洞性頻脈が 6 名、WPW 症候群 6 名、R 波増高不良 5 名、Brugada 型が 2 名、の順であった。

##### 3. 新入生健康調査：

心理面のスクリーニングを行うために、新入生全員 (大学院生も含む) へ「一般健康調査票 (CMHQ)」 「College Mental Health Questionnaire」を配布した。本年度の回収率は、1,439 名中 992 名 (68.%) とやや増加した (昨年 64.1%)。CMHQ のスコアが 15 点以上 (ストレス過剰の可能性) の学生に対しては、構造化面接 Mini-International Neuropsychiatric Interview (MINI) を施行した。286 名が該当者であったが、166 名 (58.0%) に面接を行うことができた。頻度の高い診断としては、全般性不安障害 6 名、パニック障害 3 名、強迫性障害 2 名、大うつ病エピソードおよび気分変調性障害はそれぞれ 2 名、社会恐怖 2 名、躁病エピソード 1 名、広場恐怖 1 名、神経性無食欲症、神経性大食症 1 名、全般性不安障害 1 名、その他 (過敏性大腸炎、身体表現性障害) 3 名、などの順であった。

##### 4. 外国人留学生特別健康診断：

前期と後期の対象者はそれぞれ、309 名、125 名であったが、受診者は前期 249 名 (80.6%)、後期 110 名 (88.0%) であった。異常所見または症状のある者について、前期では「やせ 29 名」「肥満 10 名」「胃炎・十二指腸潰瘍 8 名」「高血圧傾向 6 名」「喘息 2 名」「血小板減少症 2 名」「甲状腺腫 2 名」「陳旧性肺結核 1 名」「高脂肪血症 1 名」「糖尿病 1 名」「貧血 1 名」「てんかん 1 名」などであり、いずれも生活習慣に関するもので

あった。後期でも、同様の傾向が認められた。

血液検査で異常を示す者では、前期ではHDL コレステロール低値、高脂血症、高尿酸血症、肝機能障害（脂肪肝）、後期では肝機能障害（脂肪肝）、B 型肝炎ウイルス陽性、高脂血症、貧血、高尿酸血症の順に多かった。

心電図では、前期では「不完全右脚ブロック 2 名」など、後期では「左軸偏位 1 名」などがみられた。

前期に異常が認められた留学生のフォローは 33 名中、改善が 13 名、不変が 15 名、悪化 5 名であった。

#### 5. 外国人留学生保健管理センター使用状況

留学生 346 名中 162 名が保健管理センターを利用していた。利用者の延数は 325 名であった。利用の目的は、内科系疾患としては、呼吸器症状（風邪様症状）、内分泌・代謝異常症状が多く、外科系疾患としては、骨・関節筋肉痛、擦過傷・切傷、などが多かった。専門の医療機関を紹介したのは、325 名中 46 名であった。

#### 6. スポーツ学生健康診断

対象者 731 名中 480 名（65.7%）の受診者があった。異常所見としては心電図検査で 15 名が該当したが、経過観察とした。医療機関に通院中の学生が 21 名いたが、スポーツを行う上で、大きな支障が生じることはなかった。

#### 7. 健康相談者数

内科系では 430 名（延数 567 名）、外科系では 94 名（延数 106 名）、心理系では 150 名（延数 760 名）、その他 181 名（延数 220 名）、総計 855 名（延数 1,653 名）の健康相談があった。医療機関の紹介を行った件数は 534 名であった。

#### 8. 健康診断証明書発行状況

1 年間を通じて、3,786 通の健康診断証明書を発行した。発行件数が多い月は、3 月（1,232 件）、2 月（806 件）、6 月（561 件）、1 月（380 件）、の順であった。

#### 9. 麻疹抗体検査実施状況

麻疹の流行に伴う大学等の教育実習生の対する指導に基づき、当大学においても感染拡大・防止のための教育実習生等を対象に麻疹の罹患歴・麻疹ワクチン接種状況の問診と抗体検査を実施することとした。第 1 回の実施では、292 名が検査を受け、第 2 回の実施では、53 名が検査を受けた。抗体値が低い学生に対しては、個別に医療機関を紹介し、ワクチン接種を勧奨した。

#### 10. 保健管理センター利用状況

保健管理センターの利用件数は 5,837 件（学生 4,749 件・職員 1,088 件）であった。



この利用件数は従来の結果と変わらない結果であった。この利用件数の結果は、本大学の保健管理センターが学生および職員の保健管理および治療において十分な役割を果たしていると考えられる。

## <鍋島キャンパス>

### 【現状分析】

#### 1. 平成 20 年度学生の健康管理実施状況

新入生 155 名中名 (100.0%) が定期健康診断を受けた。在学生の医学科全体としては 580 名中 564 名 (97.2%)、看護学科は 264 名中 264 名 (100%)、大学院は 206 名中 93 名 (45.1%) であり、総計 1050 名中 921 名 (87.7%) であった。

#### 2. 新入生健康診断

新入生における現症または所見のある者の中で、頻度の高い疾患および状態像は、アレルギー体質が 11 名、やせ (BMI18%未満) が 12 名、気管支喘息が 4 名などであった。心電図検査結果では、洞性徐脈が 2 名、不完全右脚ブロックが 2 名、異常 Q 波 2 名、ST-T 異常 2 名などであった。

#### 3. 健康相談者数

内科系では 125 名 (延数 136 名)、外科系では 25 名 (延数 25 名)、心理系では 24 名 (延数 28 名)、その他 38 名 (延数 38 名)、総計 212 名 (延数 227 名) の健康相談があった。医療機関の紹介を行った件数は 126 名であった。

今年度は、カウンセラーの協力を得、新入生だけでなく在学生のスクリーニング検査を実施した。その結果、継続カウンセリングへ移行したり、12 名を病院紹介するなどし、対応を行った。今後は呼び出しを行っても面談に来ない学生をどのようにカウンセリングに繋げていくかが課題である。

#### 4. 健康診断証明書発行状況

1 年間を通じて、368 通の健康診断証明書を発行した。発行件数が多い月は、10 月 159 (件)、3 月 70 (件) の順であった。10 月は免疫の記録を卒業生全員に配布。3 月は学生・職員ともに国家試験後の免許申請のための診断書発行件数が多い。

#### 5. 保健管理センター利用状況

保健管理センターの利用件数は 7143 件 (学生件・職員件) であった。

今年度は、4月に学生間でインフルエンザの流行が認められた。部活動の勧誘禁止などの措置を講じ、5月の連休明けには終息に至った。また、10月にはいると、百日咳の学生が散発し、しつこい咳が出る学生には、マスクを配布し病院受診し百日咳の抗体検査を受けるように指導した。特に病棟実習の学生の対応については、感染制御部と相談し対応を統一、院内感染の防止に努めた。

小児感染症（麻疹・風疹・水痘・ムンプス）の検査については、医学部学部学生と附属病院勤務の医療従事者については100%実施している。しかし、大学院生については、周知を行ってもほとんど検査実施ができない状況のため、H21年度の対応を検討する必要がある。

独立行政法人化に伴い職員の健康に関する業務も増加している。H18年9月より職員に対する産業カウンセラーによるスクリーニング面接の計画実施している。スクリーニングだけで終了する場合もあるが、配置転換後の職員や新規採用者（看護部職員を除く）へのスクリーニングは一定の効果を挙げていると思われる。

また、職員の相談件数が増加し、特に今年度はパワハラ相談が3件（学内配置換え1件）、調査委員会への報告事案が1件であった。

産業保健師により、4月から99名の職員に健康指導を行い、職員の健康増進に務めているが、この効果については経過を追ってみていく。

## 6. その他

今年度は医学部で問題行動をとる学生が多く、新入生からタバコ・アルコール・薬物・性教育を強化していく必要があることを痛切に感じた。今後も学生サービス課、附属病院・チューターとの連携を強化し、学生の対応を行っていく必要がある。

## II. 講義・講演・学術報告・学会報告など

### <本庄キャンパス>

#### 1. 講義

学内： 健康科学・前期（佐藤）

健康科学・後期（木道）

医学部医科学専攻・修士課程・精神心理学特論（佐藤）

医学部医科学専攻・修士課程・健康スポーツ学特論「心疾患と運動」（木道）

文化教育学部人間環境課程健康福祉スポーツ選修「運動負荷試験」（木道）

医学部医科学専攻・修士課程・健康スポーツ学特論「ストレスと運動」（佐藤）

医学部大学院・博士課程「プライマリ・ケアにおける精神障害」（佐藤）

理工学部（機能物質科学）フレッシュマンセミナー（佐藤）

学外： 西九州大学大学院・精神保健福祉特論（佐藤）

#### 2. 講演

1. 佐藤 武：インターネット依存症. J-WAVE GOOD MORNING TOKYO, J-WAVE (81.3 FM)、平成 20 年 3 月 28 日、佐賀（電話・生放送）.
2. 佐藤 武：卒後研修においてうつ状態に陥ったら・・・. 卒後研修医学術講演会、平成 20 年 4 月 2 日、佐賀.
3. 佐藤 武：うつ病について. いのちの電話公開講座. 平成 20 年 6 月 11 日、佐賀.
4. 佐藤 武：うつ病について. いのちの電話公開講座. 平成 20 年 6 月 14 日、佐賀.
5. 佐藤 武：インターネット依存症. NBCラジオ佐賀. 平成 20 年 6 月 26 日、佐賀.
6. 木道圭子：ユースホステル部健康講話「熱中症について」. 平成 20 年 7 月 2 日、佐賀大学保健管理センター、佐賀.
7. 佐藤 武：モンスターペアレント. NBCラジオ佐賀. 平成 20 年 8 月 6 日、佐賀.
8. 佐藤 武：携帯依存. NHKおはよう日本. 平成 20 年 9 月 6 日、東京.
9. 佐藤 武：メンタルヘルスについて. 平成 20 年度佐賀大学リーダー研修. 平成 20 年 9 月 16 日、佐賀.
10. 佐藤 武：美しく痩せるーエアロビクスー. NBCラジオ佐賀. 平成 20 年 9 月 24 日、佐賀.
11. 佐藤 武：カウンセリングマインドとカウンセリングの実際. 平成 20 年度家庭教育相談員の研修講座. アバンセ、平成 20 年 10 月 1 日、佐賀.
12. 佐藤 武：これからの日本人における人間関係～ニュージーランドの体験から～. 佐賀大学同窓会鳥栖支部、ホテルビアントス、平成 20 年 10 月 4 日、鳥栖.
13. 佐藤 武：人間関係と「うつ病」～予防・早期発見・早期治療のコツ～. 平成 20 年度こころの健康づくり、佐賀県立佐賀西高等学校、平成 20 年 10 月 14 日、佐賀.
14. 佐藤 武：人間関係と「うつ病」～予防・早期発見・早期治療のコツ～. 平成 20 年度こころの健康づくり、佐賀県立鳥栖高等学校、平成 20 年 10 月 16 日、鳥栖.

15. 佐藤 武：高校時代の親子関係を乗り切るには。平成 20 年度佐賀西高等学校教育講演会、11 月 7 日 15、佐賀。
16. 佐藤 武：カウンセリングの実際について。子育てサポートリーダーの養成のための研修会、多久市民会館、平成 20 年 11 月 10 日、多久。
17. 佐藤 武：うつ病と自殺について。自殺対策シンポジウム、武雄市民会館、平成 20 年 11 月 14 日、武雄。
18. 佐藤 武：新型インフルエンザ。NBC ラジオ佐賀。平成 20 年 11 月 18 日、佐賀。
19. 佐藤 武：どうする？携帯依存～便利さの裏に潜む危険～。NHKおはよう日本 祝日特集。NHK、平成 20 年 11 月 24 日、東京。
20. 木道圭子：総合防災訓練「自動体外式除細動器（AED）の使い方、救命講習」。平成 20 年 11 月 26 日、佐賀大学体育館武道場、佐賀。
21. 佐藤 武：韓国における人間関係。NBC ラジオ佐賀。平成 20 年 12 月 25 日、佐賀。
22. 佐藤 武：佐賀市役所環境問題講演会：ロハスな世界～ニュージーランドの滞在経験から～。佐賀市役所、平成 20 年 12 月 18 日、佐賀。
23. 佐藤 武：佐賀県庁「こころの健康づくりについて」：ロハスな世界～ニュージーランドの滞在経験から～。佐賀県庁。平成 21 年 1 月 27 日、佐賀。
24. 佐藤 武：佐賀県弁護士会・消費者問題委員会：うつ病の基本的な理解のために。佐賀県弁護士会館、平成 21 年 1 月 29 日、佐賀。
25. 佐藤 武：平成 20 年度サイバーセキュリティ・カレッジ in 佐賀県：ネット中毒（依存）と「うつ」の関連について。佐賀市文化会館中ホール、平成 21 年 2 月 2 日、佐賀。
26. 佐藤 武：唐津市役所メンタルヘルス講演会：うつ病の基本的な理解のために。唐津市役所、平成 21 年 2 月 4 日、佐賀。
27. 佐藤 武：大麻について。NBC ラジオ佐賀、平成 21 年 2 月 6 日、佐賀。
28. 佐藤 武：思春期のうつとネット依存症。平成 20 年度佐賀地区高等学校保健会第 2 回保健主事・養護教諭合同研修会、グランデはがくれ、平成 21 年 2 月 12 日、佐賀。
29. 佐藤 武：メタボ解消！運動・認知・行動療法の実際。健康フォーラム 2008 特定健診と疾病予防（福岡）。都久志会館、平成 21 年 2 月 13 日、福岡。
30. 佐藤 武：自己管理能力の向上とメンタルヘルスケア。神埼市役所人事管理政策、神埼市役所、平成 21 年 2 月 19 日、佐賀。
31. 佐藤 武：自己管理能力の向上とメンタルヘルスケア～ニュージーランドの経験から。神埼市役所人事管理政策、神埼市役所、平成 21 年 2 月 20 日、佐賀。
32. 佐藤 武：心理相談からみたハラスメント。佐賀大学同和人権問題委員会講演会、平成 21 年 3 月 9 日、佐賀。
33. 佐藤 武：非社会的行動について。NBC ラジオ佐賀。平成 21 年 3 月 17 日、佐賀。
34. 佐藤 武：思春期のうつとネット依存。有明工業高等専門学校特別講演、平成 21 年 3 月 18 日、大牟田。

### 3. 学術報告

[著書・総説]

1. 佐藤 武：アルコール依存症（中等症）. 総合臨床 57（増刊号）:653-655, 2008.
2. 佐藤 武：男性のうつと女性のうつ. ハートの海 30:2-3, 2008.
3. 佐藤 武：我得了抑郁症吗？抑郁症的100种征兆. 華東師範大学出版社, pp.1-219, 2008.
4. 岩本利恵、佐藤 武：自己超越性に関する文献検討. 総合病院精神医学 20:189-196, 2008.
5. 佐藤 武：自律訓練法. 専門医をめざす人の精神医学 第3版、医学書院（印刷中）

[研究・症例報告]

1. Sato T, Yasumi K, Kageyama J: Depression, interpersonal relationships, and parental influence among college students in Japan. 第29回全国大学メンタルヘルス研究会報告書, pp 77-85, 2008.
2. Sato T, Kodama S: Development of College Mental Health Questionnaire for psychological screening at the entrance of college. 第29回全国大学メンタルヘルス研究会報告書, pp 36-45, 2008.
3. 安宅勝弘、斎藤憲司、佐藤 武、粥川裕平、影山任佐：大学院における休学・退学・留年学生に関する調査—平成17年度調査結果から—第29回全国大学メンタルヘルス研究会報告書, pp 109-115, 2008.
4. Nagamatsu M, Saito H, Sato T: Factors associated with gender differences in parent-adolescent relationships that delay first intercourse in Japan. J Sch Health 78:601-606, 2008.
5. Yamada K, Waza K, Maeno T, Sato T: Under-diagnosis of alcohol-related problems and depression in a family practice in Japan. Asia Pacific Family Medicine 7(1):3-8, 2008 (EPub)
6. 佐藤 武：保健管理を体系化・可視化する：業務指針の提案 5. メンタルヘルスの指針の試作. Campus Health 46(1):67-71, 2008.
7. 木道圭子、福島雅子、永渕久子、武富弥栄子、尾崎岩太、佐藤 武：鶏の生食が原因と思われた集団食中毒の発生について. Campus Health 46(1):247-248, 2008.
8. Yan C, Sato T.: Comparative study of Internet Addiction among Japanese and Chinese college students. 第30回全国大学メンタルヘルス研究会報告書(印刷中).
9. 福島雅子・木道圭子・永渕久子・佐藤 武：急性精神病を発病し緊急入院させた留年学生について. 第30回全国大学メンタルヘルス研究会報告書（印刷中）.
10. 安宅 勝弘、影山 任佐、斎藤 憲司、佐藤 武、 粥川 裕平：大学院における休学・退学・留年学生に関する調査—平成18年度調査結果および平成14～18年度5年間のデータから—. 第30回全国大学メンタルヘルス研究会報告書（印刷中）.
11. Nagamatsu M, Sato T: The Effect of HIV Prevention Program to Japanese adolescents and guardians: Support by group educations, a video and health

letters. AIDS Education and Prevention (in submitted).

12. Nagamatsu M, Sato T: The gender differences for factors that influence the first sexual experience and acceptance of sexual intercourse among 14–15 years old adolescents in Japan. Journal of Adolescent (in submitted).
13. Iwamoto R, Sato T: A study of patients with intractable diseases and their families, and a subjective sense of health. Journal of Psychosomatic Research (in submitted).

#### [その他]

特になし。

#### 4. 学会発表

1. 木道圭子、福島雅子、永渕久子、武富弥栄子、尾崎岩太、佐藤 武：鶏の生食が原因と思われた集団食中毒の発生について. 第 46 回全国大学保健管理研究集会、平成 20 年 10 月 28 日～30 日、京都.
2. 佐藤 武：保健管理を体系化・可視化する：業務指針の提案 5. メンタルヘルスの指針の試作. 第 46 回全国大学保健管理研究集会、平成 20 年 10 月 28 日～30 日、京都.
3. 福島雅子・木道圭子・永渕久子・佐藤 武：急性精神病を発病し緊急入院させた留學生について. 第 30 回全国大学メンタルヘルス研究会、平成 21 年 1 月 20 日～21 日、東京.
4. 楊 春燕、佐藤 武：日本人と中国人の大学生における **internet addiction** に関する比較研究. 第 30 回全国大学メンタルヘルス研究会、平成 21 年 1 月 20 日～21 日、東京.
5. 岩本利恵、佐藤 武：重症疾患患者および家族の自己超越性と主観的健康感に関する研究. 第 21 回日本サイコオンコロジー学会総会、平成 20 年 10 月 9 日～10 日、東京.
6. 永松美雪、佐藤 武：初交開始と性交を容認する態度に関連する性差の要因. 第 27 回日本思春期学会総会学術集会、平成 20 年 8 月 29～31 日、千葉.
7. 永松美雪、佐藤 武：思春期の子どもをもつ家族の監視と初交開始及び性交を容認する態度との関連. 第 49 回日本母性衛生学会総会、平成 20 年 11 月 5～7 日、東京.
8. 永松美雪、佐藤 武：16 歳未満の性交開始を遅らせるための HIV 予防プログラムの評価. 平成 20 年 11 月 26～28 日、大阪.
9. 佐藤 武：思いやりのない行動～ハラスメント～. 第 5 回九州思春期研究会、平成 21 年 3 月 15 日、佐賀.

#### 5. その他（座長・司会など）

1. 佐藤 武：会長「第 30 回全国大学メンタルヘルス研究会」、日本学生支援機構、平成 21 年 1 月 20 日～21 日、東京.

## 6. 地域貢献・国際貢献

1. 郭 偉、佐藤 武：「メタボ解消！パワーエアロビクス」。佐賀新聞文化セミナー（平成 20 年 8 月 1 日～同年 9 月 30 日）、佐賀。
2. 郭 偉、佐藤 武：「メタボ解消！パワーエアロビクス」。佐賀新聞文化セミナー（平成 20 年 10 月 1 日～同年 12 月 31 日）、佐賀。
3. 郭 偉、佐藤 武：「メタボ解消！パワーエアロビクス」。佐賀新聞文化セミナー（平成 21 年 1 月 1 日～同年 3 月 31 日）、佐賀。

## 7. 科学研究費補助金

1. 平成 20 年度科学研究費補助金インセンティブ（佐藤 武）：大学メンタルヘルススクリーニング票の開発と国際比較（平成 20 年度・佐賀大学）
2. 平成 20 年度科学研究費補助金基盤研究（C）「自殺予防教育の一環としての幼年版 Death Education Program」（研究分担者：佐藤 武）

委員等（佐藤）

全国大学メンタルヘルス研究会事務局長

（佐賀大学内）

健康・生活支援部門長

労働安全衛生委員会委員

大学教育委員会オブザーバー

学生委員会オブザーバー

施設マネジメント委員会委員

教育室会議委員

学生モニター会議委員

医学部大学院研究科委員会委員

大学入試委員会委員

危機管理委員会委員

遺伝子組み換え委員会委員

文化教育学部附属特別支援学校・学校保健委員会委員

文化教育学部附属中学校・学校保健委員会委員

委員等（木道）

労働安全衛生委員会委員

ハラスメント等相談委員

## <鍋島キャンパス>

### 1. 講義

1. 医学科 1 年 主題科目ニュートリション&フィットネス講義 生活習慣と健康
2. 医学科 2 年 医療入門 II 漢方入門講義 内科漢方
3. 医学科 3 年 ユニット 4 講義 内分泌性高血圧
4. 医学科 4 年 臨床入門 実習の安全管理

### 2. 学術報告

[著書]

Matsushashi S, Ozaki I. Programmed Cell Death 4. Encyclopedia of Cancer, 2nd edition, (Manfred Schwab (Ed.)) p2432-2435, Springer-Verlag Berlin Heidelberg, New York 2008, ISBN: 978-3-540-36847-2 (Print) 978-3-540-47648-1 (Online)

[原著論文]

Eguchi Y, Mizuta T, Ishibashi E, Kitajima Y, Oza N, Nakashita S, Iwane S, Takahashi H, Akiyama T, Ario K, Kawaguchi Y, Yasutake T, Iwakiri R, Ozaki I, Hisatomi A, Eguchi T, Ono N, Fujimoto K. Hepatitis C virus infection enhances insulin resistance induced by visceral fat accumulation. *Liver Int* 2008, in press.

Sakamoto T, Higaki Y, Hara M, Ichiba M, Horita M, Mizuta T, Eguchi Y, Yasutake T, Ozaki I, Yamamoto K, Onohara S, Kawazoe S, Shigematsu H, Koizumi S, Tanaka K. Interaction between interleukin-1beta -31T/C gene polymorphism and drinking and smoking habits on the risk of hepatocellular carcinoma among Japanese. *Cancer Lett.* 2008; 271: 98-104..

Hara M, Tanaka K, Sakamoto T, Higaki Y, Mizuta T, Eguchi Y, Yasutake T, Ozaki I, Yamamoto K, Onohara S, Kawazoe S, Shigematsu H, Koizumi S. Case-control study on cigarette smoking and the risk of hepatocellular carcinoma among Japanese. *Cancer Sci* 2008; 99: 93-7.

Ishibashi E, Eguchi Y, Eguchi T, Matsunobu A, Oza N, Nakashita S, Kitajima Y, Kuroki S, Ozaki I, Kawaguchi Y, Ide Y, Yasutake T, Iwakiri R, Mizuta T, Ono N, Fujimoto K. Waist circumference correlates with hepatic fat accumulation in male Japanese patients with non-alcoholic fatty liver disease, but not in females. *J Gastroenterol Hepatol* 2008, 23: 908-13.

中下俊哉, 江口有一郎, 高橋宏和, 大座紀子, 桑代卓也, 河口康典, 黒木茂高, 尾崎岩太, 水田敏彦, 小野尚文, 江口尚久, 藤本一眞. 抗ウイルス治療中の B 型慢性肝炎における血中 HBV-DNA の評価—コバス TaqMan HBV「オート」による検討, *肝臓* 2008; 49: 483-484.

北島陽一郎, 江口有一郎, 石橋絵理子, 大座紀子. 中下俊哉, 水田敏彦, 尾崎岩太, 藤本一眞. 堀江弘子, 後川美智子, 小野尚文, 江口尚久, 青木茂久, 戸田修二, 新井康平.



臍部 CT における多裂筋 CT 値は非アルコール性脂肪性肝疾患における食事・運動療法の効果を反映するか. 薬理と治療 36 suppl. 2: S235-237, 2008

〔総説〕

Mizuta T and Ozaki I. Hepatocellular carcinoma and vitamin K. Vitamins and hormones 2008; 78: 435-440.

Matsuzaki K, Ozaki I. TGF- $\beta$  and hepatocellular carcinoma: reply. Hepatology 2008; 47:1095-6.

〔症例報告〕

大座紀子, 水田敏彦, 江頭秀哲, 野尻洋一, 有尾啓介, 秋山巧, 高橋宏和, 河口康典, 江口有一郎, 尾崎岩太, 工藤祥, 藤本一眞. 肝生検後 35 年経過して発症し、経カテーテル的肝動脈塞栓術によって門脈圧亢進が著名に改善した肝内動脈瘤の 1 例.

肝臓 2008; 49: 506-511.

〔学会〕

水田敏彦, 河口康典, 吉村達, 江口有一郎, 高橋宏和, 秋山巧, 大座紀子, 尾崎岩太, 久富昭孝. C 型慢性肝炎はウイルス排除によりインスリン過分泌と全身的インスリン抵抗性が改善する. 第 51 回日本糖尿病学会年次学術集会 2008.5.22-24 東京. 糖尿病 51: supplement 1 III-P-68 (S-334), 2008

尾崎岩太, 浜島弘, 中島麻友美, 夏京合, 河口康典, 江口有一郎, 松橋幸子, 水田敏彦. 腫瘍抑制遺伝子 Programmed cell death 4 (PDCD4) の Protein kinase C (PKC) による調節. 第 44 回日本肝臓学会総会 2008.6.5-6(松山) 肝臓 2008; 49(suppl 1): A352.

河口康典, 水田敏彦, 大座紀子, 秋山巧, 高橋宏和, 江口有一郎, 尾崎岩太. HCV 感染は全身のインスリン抵抗性およびインスリン過分泌を惹起する. 第 44 回日本肝臓学会総会 2008.6.5-6(松山) 肝臓 2008; 49(suppl 1): A214.

高橋宏和, 水田敏彦, 石橋絵理子, 大座紀子, 秋山巧, 河口康典, 江口有一郎, 尾崎岩太. C 型慢性肝炎患者における ALT 値にはインスリン感受性とともに関与・加齢が影響する. 第 44 回日本肝臓学会総会 2008.6.5-6(松山) 肝臓 2008; 49(suppl 1): A297.

木道圭子, 福島雅子, 永渕久子, 武富弥栄子, 尾崎岩太, 佐藤武. 鶏の生食が原因と思われた集団食中毒について. 第 46 回全国大学保健管理研究集会 2008.10.29-30 (京都) Campus Health 2008;45(3): 76.

尾崎岩太, 平井賢治, 水田敏彦. 佐賀県肝炎ウイルス検診 15 年の結果からみた今後の動向予測と対策. 第 12 回日本肝臓学会大会 2008.10.1-3 東京  
肝臓 49:suppl.(2) A513 (肝W11-1), 2008.

北島陽一郎, 江口有一郎, 石橋絵理子, 堀江弘子, 後川美智子, 水田敏彦, 尾崎岩太, 久富昭孝, 江口尚久, 藤本一眞. 脂肪性肝疾患における多裂筋脂肪化と肝機能およびインスリン抵抗性との関連について. 第 29 回日本肥満学会 2008.10.17-18 大分. 肥満研究 14:suppl.

188 (O-125), 2008

Xia J, Matsubashi S, Zhang H, Ide Y, Hamajima H, Mizuta T, Fujimoto K, Ozaki I. Role of PKC in the inhibition of NF-kappaB activation by menatetrenone, a vitamin K2 analogue in human hepatocellular carcinoma cells. BMB2008 (第 31 回日本分子生物学会年会, 第 81 回日本生化学会大会 合同大会) 2008.12.9-12 神戸. BMB2008 program p369 (2P-0294)

浜島弘史, 岩根紳治, 張浩, 河口康典, 江口有一郎, 松橋幸子, 藤本一眞, 水田敏彦, 尾崎岩太. PKC  $\delta$  による Programmed cell death 4 (PDCD4) のタンパク質レベルでの調節. BMB2008 (第 31 回日本分子生物学会年会, 第 81 回日本生化学会大会 合同大会) 2008.12.9-12 神戸. BMB2008 program p370 (2P-0297)

尾崎岩太, 浜島弘史, 岩根紳治, 張浩, 河口康典, 江口有一郎, 松橋幸子, 水田敏彦. インテグリン過剰発現系を用いた細胞接着シグナル解析: Smad シグナルに対する修飾機構. BMB2008 (第 31 回日本分子生物学会年会, 第 81 回日本生化学会大会 合同大会) 2008.12.9-12 神戸. BMB2008 program p748 (4P-0490)

岩根紳治, 浜島弘史, 張浩, 河口康典, 江口有一郎, 松橋幸子, 水田敏彦, 藤本一眞, 尾崎岩太. インテグリンによるインターフェロン/JAK-STAT Pathway の制御. BMB2008 (第 31 回日本分子生物学会年会, 第 81 回日本生化学会大会 合同大会) 2008.12.9-12 神戸. BMB2008 program p748 (4P-0491)

Matsunobu A, Eguchi Y, Ishibashi E, Oza N, Kitajima Y, Iwane S, Akiyama T, Ario K, Yasutake T, Iwakiri R, Ozaki I, Mizuta T, Fujimoto K. Visceral fat accumulation and insulin resistance are risk factors for increase in ALT in chronic hepatitis C in males but not in females. Digestive Disease Week (DDW) 2008. 2008.5.17-22 San Diego, California. Program AASLD Poster sessions S1929

Oza N, Eguchi Y, Nakashita S, Ishibashi E, Eguchi T, Matsunobu A, Kitajima Y, Kuroki S, Ozaki I, Kawaguchi Y, Ide Y, Yasutake T, Iwakiri R, Mizuta T, Ono N, Fujimoto K. Minimal visceral fat accumulation is a prerequisite for a persistent normal serum ALT level in chronic hepatitis C patients. Digestive Disease Week (DDW) 2008 2008.5.17-22 San Diego, California. Program AGA Poster sessions S2065

Oza N, Ishibashi E, Eguchi Y, Nakashita S, Eguchi T, Matsunobu A, Kitajima Y, Kuroki S, Ozaki I, Kawaguchi Y, Ide Y, Yasutake T, Iwakiri R, Mizuta T, Ono N, Fujimoto K. Waist circumference correlates with hepatic fat accumulation in male Japanese patients with nonalcoholic fatty liver disease, but not in females. Digestive Disease Week (DDW) 2008. 2008.5.17-22 San Diego, California. Program AGA Poster sessions M1766

Takahashi H, Mizuta T, Kawazoe S, Otsuka T, Ario K, Oza N, Akiyama T, Iwane S, Kawaguchi Y, Eguchi Y, Ozaki I, Fujimoto K. Evaluation of radiofrequency ablation for hepatocellular carcinoma in elderly patients. 16th United European Gastroenterology Week (UEGW) 2008.10.18-22 Vienna, Austria. Gut 2008; 57 (Suppl II) A88 (OP405)

Takahashi H, Mizuta T, Eguchi Y, Ishibashi E, Oza N, Iwane S, Akiyama T, Ide Y, Kawaguchi Y, Ozaki I, Fujimoto K. Gender and aging influence the association between serum aminotransferase levels and systemic insulin sensitivity in patients with chronic hepatitis C. 16th United European Gastroenterology Week (UEGW) 2008.10.18-22 Vienna, Austria. Gut 2008; 57 (Suppl II) A292 (P0940)

Hamajima H, Ozaki I, Iwane S, Xia H-J, Kawaguchi Y, Eguchi Y, Matsubashi S, Mizuta T. Pivotal role of protein kinase C (PKC)-  $\delta$  in the regulation of tumor suppressor programmed cell death 4

(PDCD4) in human hepatocellular carcinoma cells.  
50th Anniversary Meeting of the International Association for the Study of the Liver (IASL)  
2008.10.31-11.4 San Francisco, CA. Hepatology 48(4): suppl 492A(412), 2008

Eguchi Y, Mizuta T, Ishibashi E, Eguchi T, Matsunobu A, Oza N, Nakashita S, Kitajima Y, Takahashi H, Kawaguchi Y, Iwakiri R, Ozaki I, Ono N, Fujimoto K  
Hepatitis C virus infection enhances insulin resistance induced by visceral fat accumulation. AASLD 59<sup>th</sup> The Liver Meeting 2008. 2008.10.31-11.4 San Francisco, CA. Hepatology 48(4): suppl 786A(1075), 2008

Eguchi Y, Mizuta T, Ishibashi E, Oza N, Takahashi H, Nakashita S, Kitajima Y, Kawaguchi Y, Iwakiri R, Ono N, Eguchi T, Ozaki I, Fujimoto K. Age and gender affected the relationship between visceral fat and hepatic fat accumulation in patients with nonalcoholic fatty liver disease. AASLD 59<sup>th</sup> The Liver Meeting 2008. 2008.10.31-11.4 San Francisco, CA. Hepatology 48(4): suppl 819A(1149), 2008

〔研究会〕

Hamajima H, Ozaki I, Zhang H, Ide Y, Kawaguchi Y, Eguchi Y, Matsuhashi S, Mizuta T.  
Modulation of TGF- $\beta$ 1-induced Smad signaling by ECM receptor  $\beta$ 1-integrin. The 28<sup>th</sup> Sapporo Cancer Seminar International Symposium. 2008.6.26-27 (Sapporo).

大座紀子、水田敏彦、江口有一郎、桑代卓也、秋山巧、高橋宏和、河口康典、尾崎岩太。  
HBV キャリアへの啓蒙の重要性を再認識させられた B 型劇症肝炎の一例。第 12 回九州肝不全研究会 2008.9.20 (福岡)

〔講演会〕

尾崎岩太. 佐賀県の肝臓病：なぜ多い？自分の肝臓を知るには？肝臓病と言われたら？  
第 2 回鳥栖三養基市民公開講座 2008. 2. 23 鳥栖三養基医師会.

尾崎岩太. 脂質代謝・糖代謝メカニズムと生活習慣病. 佐賀県産業保健研修会 2008.2.28.  
佐賀産業保健推進センター.

尾崎岩太. 佐賀県における肝炎治療助成制度について. 佐賀県医師会学術講演会 2008. 4. 18. 佐賀県医師会成人病予防センター.

尾崎岩太. 佐賀県のウイルス肝炎対策について. 佐賀県県民公開講座「肝炎・肝癌治療法の進歩」 2008.6.1. アバンセ.

尾崎岩太. エイズ教育講演会：生と性・男と女. 2008.7.2, 鳥栖工業高等学校

尾崎岩太. お酒との付き合い. サークルリーダーセミナー 2008.7.17.佐賀大学医学部

委員等(尾崎)

佐賀県肝疾患対策委員会委員長

佐賀大学環境安全衛生管理室副室長（衛生部門）

佐賀大学安全衛生管理委員会委員

佐賀大学医学部安全衛生委員会委員

佐賀大学ハラスメント等相談委員

佐賀大学動物実験委員会委員

佐賀大学医学部附属病院放射線障害防止委員会委員

佐賀大学エコアクション連絡会議委員

佐賀大学医学部及び附属病院エコアクション 21 委員会委員

佐賀大学医学部附属病院感制御部会議メンバー

## 平成 21 年度 学生の健康管理実施計画(案)

### (1) 定期健康診断

(検査項目)

○全員を対象

胸部X線、血圧、検尿、身体計測

○新入生を対象

胸部X線、血圧、検尿、身体計測、心電図、内科検診

○外国人留学生を対象

胸部X線、血圧、検尿、身体計測

心電図、内科検診、血液検査

\* 医学部学生については一部学生に血液検査実施

### (2) 新入生健康調査

健康調査票集計

健康相談 (前期・後期)

### (3) 感染症対策

麻疹・風疹・流行性耳下腺炎・水痘抗体検査及びワクチン接種

(鍋島キャンパス医学部新入生)

麻疹抗体検査(本庄キャンパス教育実習・介護等体験参加者)

### (4) 外国人留学生後期入学者健康診断

### (5) スポーツ学生健康診断 (前期・後期)(本庄のみ)

### (6) 特別健康診断 (放射線業務従事者 年2回)

### (7) 健康相談

### (8) 健康診断証明書発行

### (9) 応急処置

### (10) 保健指導

平成21年度 佐賀大学定期健康診断日程

月 日	曜 日	対 象 学 部・学年	対象人数	健診時間	
4月2日	木	理工学部(理学系)・医学部・農学部・・男子(午前) 文化教育学部・経済学部・・男子(午後)	510	9:00～16:00	
4月3日	金	文化教育学部・医学部・・女子(午前) 経済学部・理工学部・農学部・・女子(午後)	600	9:00～16:00	
4月6日	月	理工学部(工学系)・・男子(午前) 13:00～指定日にこれない学生(男女共)	340	9:00～16:00	
4月7日	火	医学部大学院	90	13:00～16:00	*
4月8日	水	医学部(医学科)	105	13:00～15:00	*
4月9日	木	医学部(看護学科)	130	9:00～11:00	*
		医学部(医学科)	190	13:00～16:30	*
4月13日	月	4年男子(文教・経済・農学部 )	378	12:00～16:00	
4月14日	火	4年女子(全学部)	439	12:00～16:00	
4月15日	水	4年男子(理工学部)	492	12:00～16:00	
4月16日	木	大学院2. 3年男子(全学部)	330	12:00～16:00	
4月17日	金	大学院1. 2. 3年・研究生女子(全学部)	194	12:00～16:00	
4月20日	月	3年男子(理工学部)	452	12:00～16:00	
4月21日	火	3年男子(文教・経済・農学部)	335	12:00～16:00	
4月22日	水	3年女子(全学部)	472	12:00～16:00	
4月23日	木	2年女子(全学部)	499	12:00～16:00	
4月24日	金	2年男子(文教・経済・農学部 )	321	12:00～16:00	
4月27日	月	2年男子(理工学部)	464	12:00～16:00	
4月28日	火	大学院1年・研究生男子 (全学部)	340	12:00～16:00	
5月20日	水	外国人留学生(男子)	200	8:30～12:30	
5月21日	木	外国人留学生(女子)	130	8:30～12:30	
6月4日	木	直接撮影 ( 11:30 ～ 14:30 )	50	11:30～14:30	
7月15日	水	看護科	60	13:00～15:00	*
10月21日	水	外国人留学生(男子)	40	8:30～10:30	
10月22日	木	外国人留学生(女子)	40	8:30～10:30	
H22.1(未定)		医学科	95	14:00～16:00	*
H22.3(未定)		医学科	95	13:00～15:00	*

\*は医学部

## 平成 21 年度 職員の健康管理実施計画(案)

### (1) 一般定期健康診断

全職員を対象

胸部X線、血圧、検尿、身体計測(聴力を含む)

血液検査、心電図、内科診察

(検査については業者委託である)

### (2) 雇入れ健康診断

### (3) 特定業務従事者健康診断・特殊業務健康診断 (年 2 回)

### (4) 胃がん検診・便潜血反応検査

### (5) 海外派遣者健康診断

### (6) 各健康診断の事後措置(産業保健師による保健指導を含む)

### (7) ツベルクリン検査・インフルエンザ予防接種(医学部のみ)

### (8) 健康相談 (佐賀大学メンタルヘルス相談窓口)

### (9) 応急処置

佐賀大学保健管理センター

自己点検評価報告書

2008年3月末日 発行

編集発行 佐賀大学保健管理センター  
佐賀大学学生生活課

〒840-8502 佐賀市本庄町1番地

電話 0952-28-8181

ファックス 0952-28-8184